

○ 日本側所蔵記録

資料番号	J. II -21	資料名	朝鮮人御饗応七五三膳部図
------	-----------	-----	--------------



紙本著色（縦×横）30.1×20.8cm

1811年来日の第12次通信使を迎えるに当たり、その饗応接待のための儀礼用料理「七五三膳」の試作を作らせ、日本側の正使・小笠原忠固が家臣の猪飼正華に描き写させたもの。色鮮やかに詳細に描かれており、当時の膳の内容を詳らかに知ることができる。「朝鮮人物旗仗轎輿之図」とともに尾張徳川家には同じ写本が各2部伝来している。

資料番号	J. II -22	資料名	馬上才図巻
------	-----------	-----	-------



(図版は部分)

卷子装 紙本著色 [縦×横]26.9×937.1cm

本図は朝鮮通信使に随行した馬上才による馬の曲乗を描いたものである。馬上才による曲乗は、徳川将軍が特に来日を熱望したものであり、将軍の上覧ののち、江戸の民衆にも見物する機会があり、抜群の人気を誇った。本図は馬上立、馬上倒立などの様々な曲乗を描いており、朝鮮通信使を通じて日本に伝えられた朝鮮国の伝統的な芸能の一つである。